

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4490800093		
法人名	特定非営利活動法人しらゆり		
事業所名	グループホームしらゆり萩		
所在地	竹田市萩町瓜作4575		
自己評価作成日	令和3年1月4日	評価結果市町村受理日	令和4年3月3日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	福祉サービス評価センターおおいた		
所在地	大分県大分市大津町2丁目1番41号		
訪問調査日	令和4年1月25日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

自然に囲まれた環境の中で自立した生活への支援をします。自分の思いを大切にアットホームな環境を提供します。地域との連携を密にして地域の人と共存できるように考えています。昨年来のコロナ禍においては毎年の地域の方々との交流もなく、家族の面会も出来ず寂しい思いをさせたことを残念に思います。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・自然に恵まれ広々とした豊かな環境である。
- ・毎食施設内での手作り料理や懐かしい味や季節の野菜を取り入れ工夫されている。
- ・職員が一人ひとりに寄り添い落ち着いた日々を過ごしている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	グループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を分かりやすく3つの柱にして職員の理解を深めケアの実践につながるように努め、理念を共有している。	入口に理念を掲示しており、毎月の会議で確認し理念を実践につなげている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ禍においてこの2年間は地域のイベントにも参加出来なかった	コロナ禍で外部との交流が出来ず、しらゆり便りで菰の様子を個々のペースで伝えている。近所に犬を連れ散歩している方が声掛けしてくれるなど交流がある。早く以前の様に地域の行事や住民と触れ合いの機会が復活する事を望んでいる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	年1回地域の方々を招待して老人会の開催がこの2年は出来ず、地域交流が出来ていない		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今年度は2回文章で、2回は会議、外部評価の日程をお知らせし、評価を報告する予定	運営推進会議もコロナ禍で開催出来ないため文書での発信が主であり、取り組みに関してはサービスの向上に活かすまでの事例がない。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	相談、報告の出来やすい関係にあります。市の担当者がいろいろな情報をいち早く連絡をしてくれて協力関係が築けています。	市町村との日頃からの連携が取られており、実状を話すなど協力関係を築き取り組んでいる。今回も台風被害で傷んだ外回りの改修が行われていた。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	月一度の会議に自己評価をします。玄関を施錠することはありません。職員も正しく理解しています	マニュアルもあり一人ひとりの行動は抑制せず、注意や見守りで自然に対応する様努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされないよう注意を払い、防止に努めている	入社時には虐待防止の冊子をわたして勉強をしていただく。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	今現在成年後見の利用者はいませんが、権利擁護、成年後見の理解はしている。管理者は活用の支援をしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分に説明をして理解して頂いております		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会を年1回春に開催して意見交換をしますが昨年家族会が開催していません。	面会時や電話連絡の折、要望等を聞き支援に繋げている。今はコロナ禍で直接の面会が出来ないが、しらゆり便り発行等で様子を伝え家族の意見も聞きながら支援に繋げている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	運営に関することは職員の要望や意見で決定します	毎月の全体会議で出た意見に添いながら反映させている。SNS(LINE)のビデオ通話を利用し個々の意見を聞くこともある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	努力をしている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修は誰もが希望すれば受講できる。研修費を助成する。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	たけたん絆が10年間(同業者の集まり)研修を年に2, 3回ありましたが、この2年間は休止状態		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人、家族の想いを大切にして安心して生活できるよう努めています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族と一緒に支援する思い出対応しています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	初期においては家族の想い、本人の状況を把握するに時間がかかる場合もありますが日々努力しています		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	アットホームな環境を作り気軽に職員と話ができるよう努めている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人と家族の状況を踏まえ支援している		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ禍において面会が困難な状況にありましたが今は徐々に解除し会えるようにしている	コロナ禍で外部との交流が出来ず帰宅願望や不穏になる事もあるが、その都度家族と連絡を取ったり、車で以前住んでいた所を見に行ったりと寄り添って支援する様努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者同士の関係を把握している、それにより席をきめ、支え合える胃炎に努めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所された方のご家族から相談を受け包括へつなげたり入所待機者リストに上げたり支援している		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々意向に傾聴し寄り添いながら把握して行けるよう努めているつもりです	入居時の基本情報を基に日常生活の中での変化や会話からその人の思いや意向を組み取れる様努めている。家族から聞く事もある。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの生活歴をアセスメントなどから把握し、ご本人からも伺う事でより広く知る事が出来るよう努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々観察する事を心掛け小さな変化も気づき、対応できるよう努めている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	つい1回のケース会議で課題をモニタリングをおこない、本人家族の意見や身体状況を踏まえてプランの見直しをおこなっている	一人ひとりに担当があり、モニタリングをして全体で話し合い現状に即したプランになる様、介護計画を作っている。変化があればその都度見直しを行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録を参考にしながら職員間で情報共有し実践しながらモニタリングを通してケアの見直しを行っている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	地域密着型であり、地域内での緊急利用希望者に対してデイを利用してもらったり、通所系の利用者に対して家族の都合に合わせ緊急課題としてショートを利用するなり課題解決を図っている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	通所利用の方の担当者会議に出席し在宅継続の意思へ寄り添う為私どもが出来る事を支援するよう努めている		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族の希望するかかりつけ医にかかっている。定期受診には職員が、特別な医療については家族が対応しており、情報の共有を図っている	本人(家族)希望のかかりつけ医となっている。入居時にも説明し、家族の付き添いを原則としているが、職員が行く事の方が多くなっている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	常勤の看護師がいますので適切な受診や主治医との連携はできている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	地域連携室と連携しながら早期退院に向け努力している		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取りをした事も有りますが今家族の希望に添いたいと思います。看取りには家族、本人の希望ならと思います	入居時に重度化や終末期に向けた方針は説明している。看取りのケースは現在はしない方針で職員に周知している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	コロナの前は毎年訓練を受けていましたがこの2年間は出来ませんでした。今までの訓練が生かされていると思います		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回、入居者、利用者、職員市消防署員と一緒に扶南訓練を行っている。	消防署と利用者と共に避難訓練をしている。災害時は推進委員にも連絡が行く様になっているが、地域との協働はしていない。備蓄は施設内にある。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	その人の人格を把握し誇りやプライバシーを損ねないように努めている	月1回の職員会議で個人情報の保護等を話し、支援に繋げている。市の研修等には参加するが共有には至っていない。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	常に入居者の気持ちに寄り添いながらニーズを言える状況作りと目線を同じくして自己決定しやすい雰囲気作りを心掛けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入浴の予定日など立てているがその日の希望を優先し、合意をへて支援するよう努めている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	お伺いをたて、意思に添った身だしなみができるよう努めている		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材の下準備や後片付けなど出来る事は一緒にして頂いています	毎食施設内で調理している。当日の調理担当者がメニューを決め、週間のメニュー表はない。時には『何食べたい?』と希望を聞き、天気の良い日は外庭で食べる事もある。調査日は誕生日と言う事で赤飯で祝っていた。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	その方その日の状況など様子、観察に努め必要に応じた支援が出来るよう努めています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	一人一人に応じた行い方で口腔内の清潔が保てるようケアに努めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々のパターンを把握して対応している	利用者はリハビリパンツを利用し布パンツの方もいる。パターンを把握し声掛けで失敗のない様に誘導している。パットが入居後取れた方もいる。進化もあり自立に向け状態を維持出来ている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	一人ひとりの特性を考えながら主治医と相談の上個々に対応している		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	ここに添った対応をしています週2回は入浴の機会を確保しています。入浴日は日曜日を除き毎日行います	原則として週2回の入浴である。汚染時などその都度対応している。ゆず、バラ湯等の雰囲気作りも工夫している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	安心して眠れる様支援しています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬の介助、症状の変化の確認を行っています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	張り合いや喜びのある日々をすごして頂けるように支援をしています		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	庭の散策はいつでもできます、コロナの為外出は昨年やっと1回出来ました、近くに食事に行きました	コロナ禍で人ごみに行けず外庭に出る事が多い。外周を一周したり道の駅に食事に行く事もある。希望に応じて家の近くまで行くなどの支援をしている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の管理が自分で出来る方は持っていますが時に難しいときもあります、外出行事には好きなものを買う事も出来ます、買ってほしいものがあれば職員が買い物をします		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	携帯電話は持ち込み自由にしています、手紙は職員が協力して読んだり出したりします		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	天窓、ベランダ、床暖房もあり、また各居室には個別のエアコンも設置しています、住環境は整っています	床暖房がありほんのり温かく落ち着ける。窓からは広々とした山々が見え、広い庭にはブルーベリーや果物の植木があり、自然に恵まれている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居室は一人になりたいときはいつでも一人になれます、思い思いに過ごせる様に工夫しています		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人、家族が良ければ使い慣れたものを持ってきて居心地よく過ごせる様にしています	家族の写真や馴染みの物が置かれ、各自持ち込みのテレビがあり、家にいた時と同じ様に居心地よく過ごせる居室になっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下には手すりをつけ、自分の部屋で自身のペースで生活できるようにしている		